

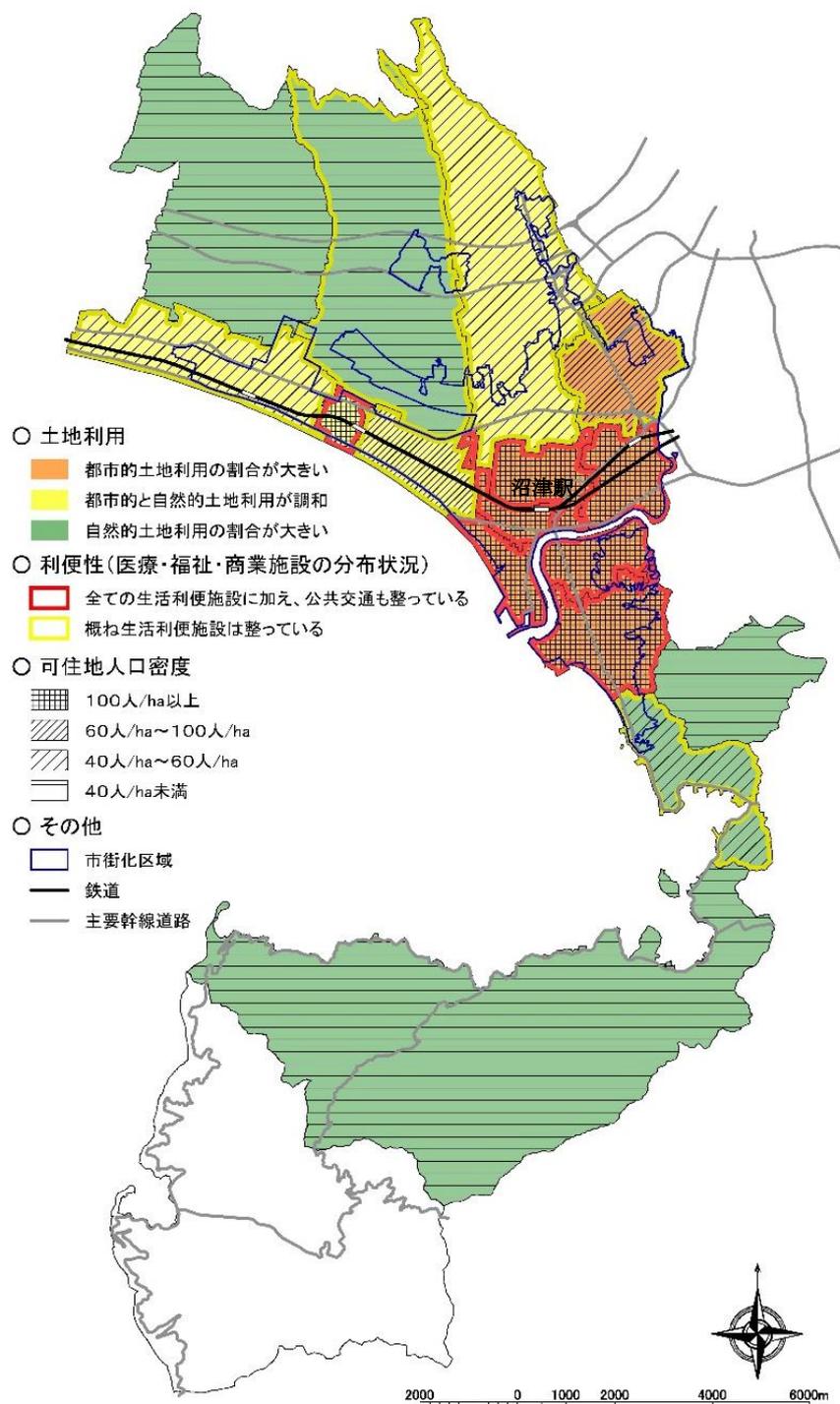
4 中心市街地と各拠点の連携

(1) 第1回委員会の主要指摘事項

- ・生活圏（拠点）ごと地域特性の検討及び中心市街地と各拠点との連携に繋がる議論が必要
- ・DIDを維持することを目標にしつつ高齢化率を将来推計し、各地区にどのような機能を入れるべきか戦略を練ることが必要。

(2) 指摘を踏まえた対応

生活圏ごとのカルテ及びレーダーチャートを作成して地域の特性（強み・弱み）を明確にするとともに、地域拠点については不足する便民施設や公共交通の状況を示す。

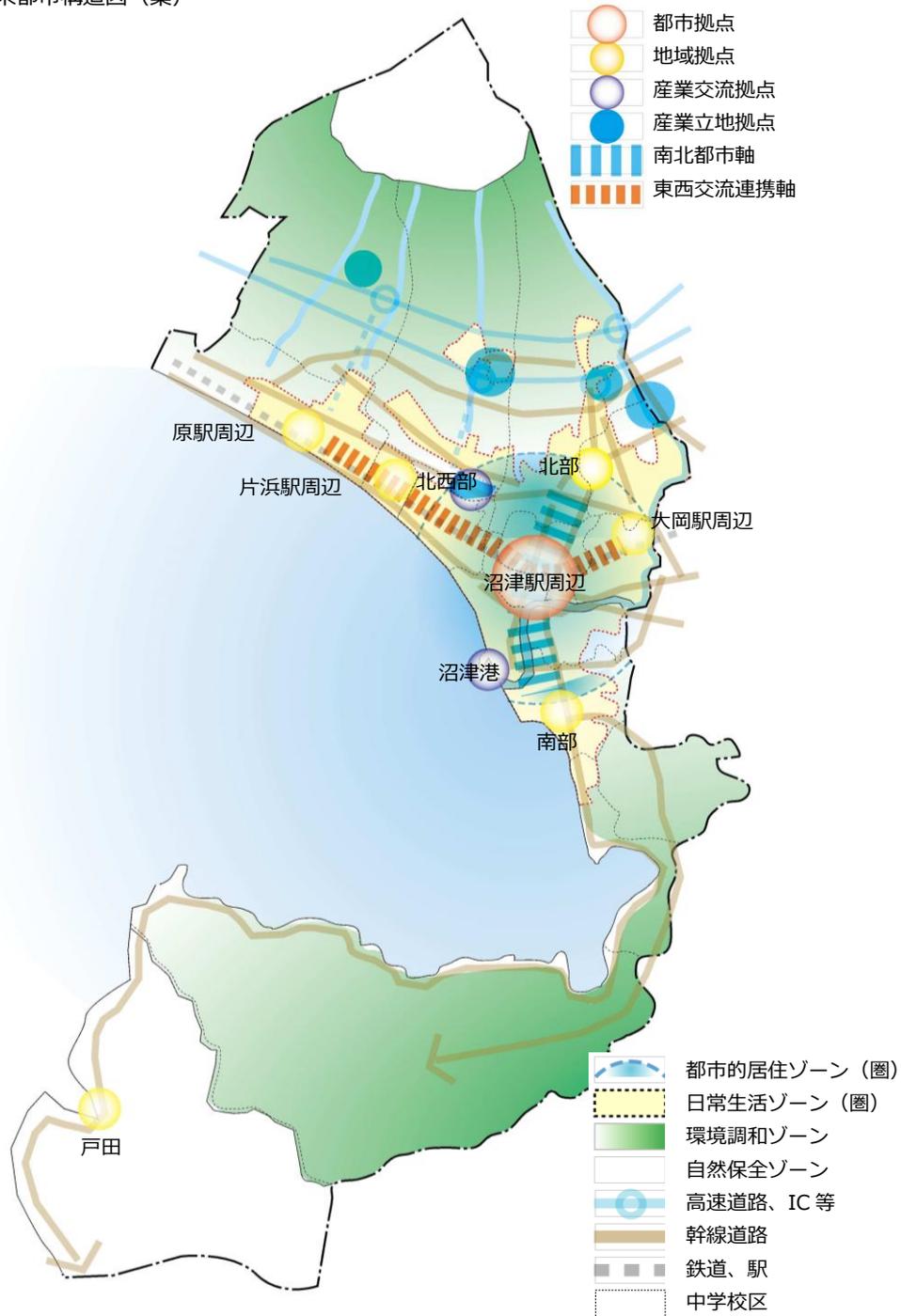


(3) 議論のテーマ

ア) 地域拠点としての「大岡駅周辺」について

- ・総合計画において、地域核として原駅周辺、片浜駅周辺、大岡駅周辺、北部地区、南部地区、戸田が位置づけられており、都市計画マスタープランにおいても地域拠点として位置づけていく予定であるが、「大岡駅周辺」について、他の地区に比べ具体的な方向性を打ち出せていないため議論のテーマとしたい。

将来都市構造図（案）



イ) 地区の現状

- ・大岡駅を中心とした半径 1 km 圏に約 27,000 人が住んでいる。また、南側の大岡地区と北側の門池地区という性格の異なる 2 つの地区で構成されている。

<大岡地区>

- ・人口密度が 50～90 人/ha のエリアが多く、人口密度が高い地区である。
- ・公共施設として、大岡小学校、大岡南小学校、大岡中学校、地区センターがある。
- ・大規模な工場が存在する（矢崎電線沼津製作所、東芝機械沼津事務所）。
- ・職住近接で子育てしやすい環境。
- ・住宅地に残った畑等の緑が存在する。

<門池地区>

- ・道路は国道 1 号、246 号、414 号が結節するジャンクションがある。
- ・幹線道路（国道 1 号、246 号、414 号）沿いには沿道型の商業施設が立地している。

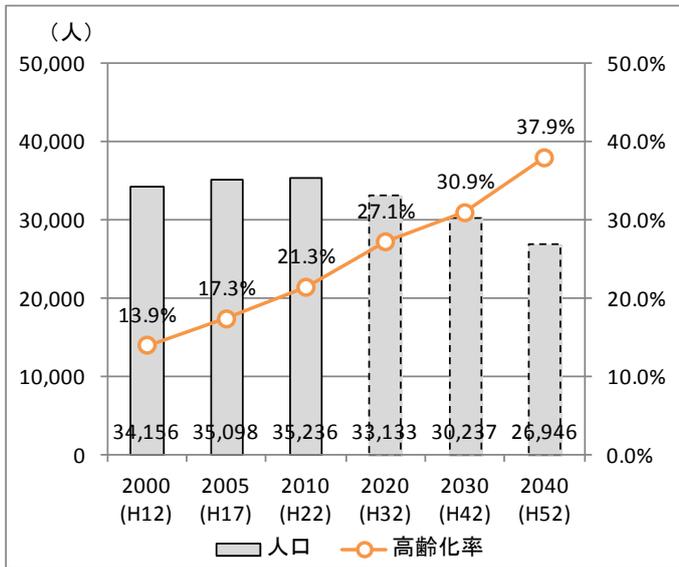
ウ) 地区の課題

- ・電車とバスの連携が悪く、南北を結ぶバス路線が無い。
- ・東西に伸びる幹線道路はあるが、大岡駅周辺から南に伸びる幹線道路はない。
- ・基盤整備されずに宅地化された地区があり、緊急車両が通行出来ない細街路がある。
- ・現在の社会経済状況から、大規模工場については将来的な移転や縮小等の懸念がある。

①大岡駅周辺- 1

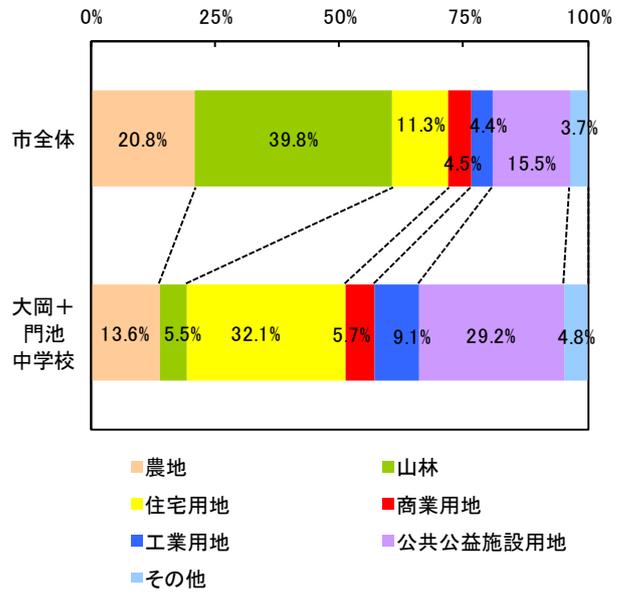
■ 人口と高齢化の推移

(大岡中学校区+門池中学校区)

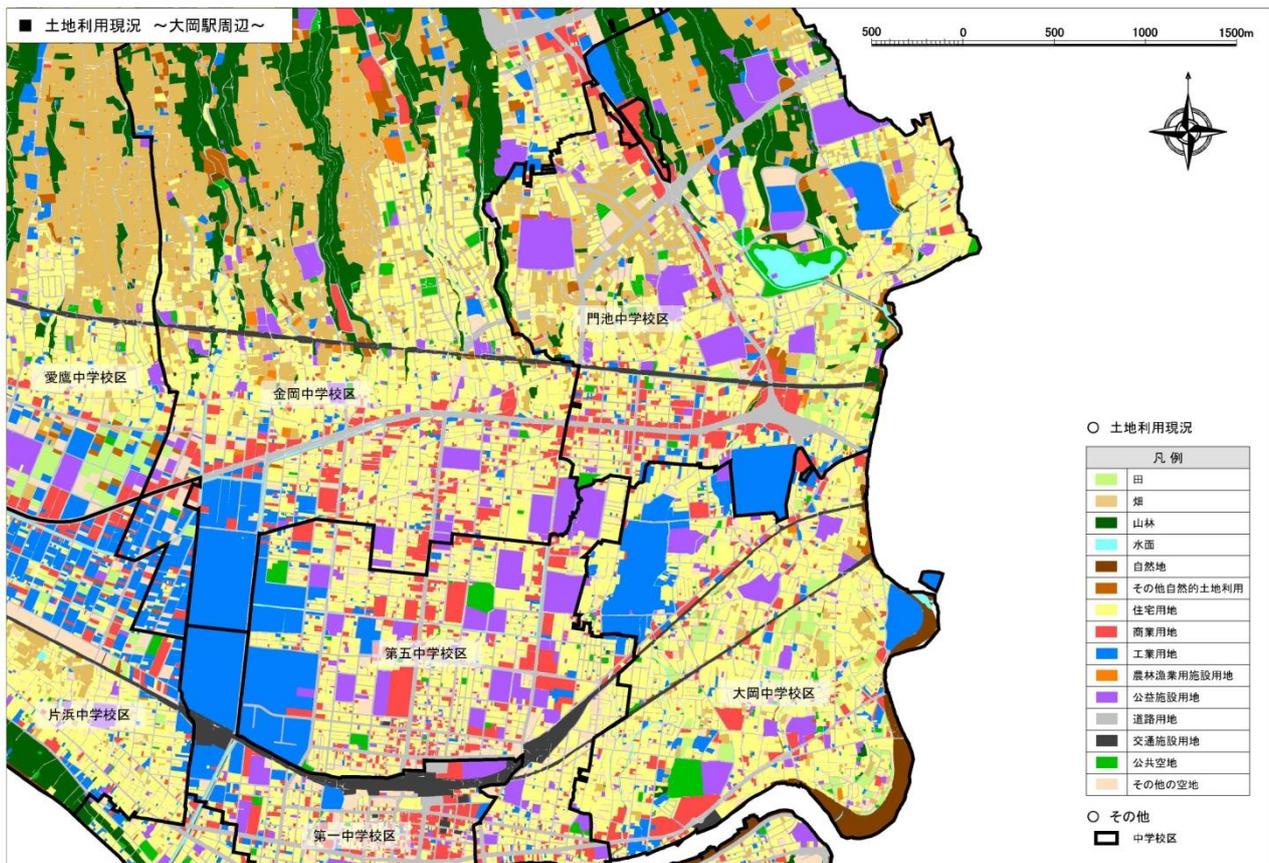


■ 土地利用

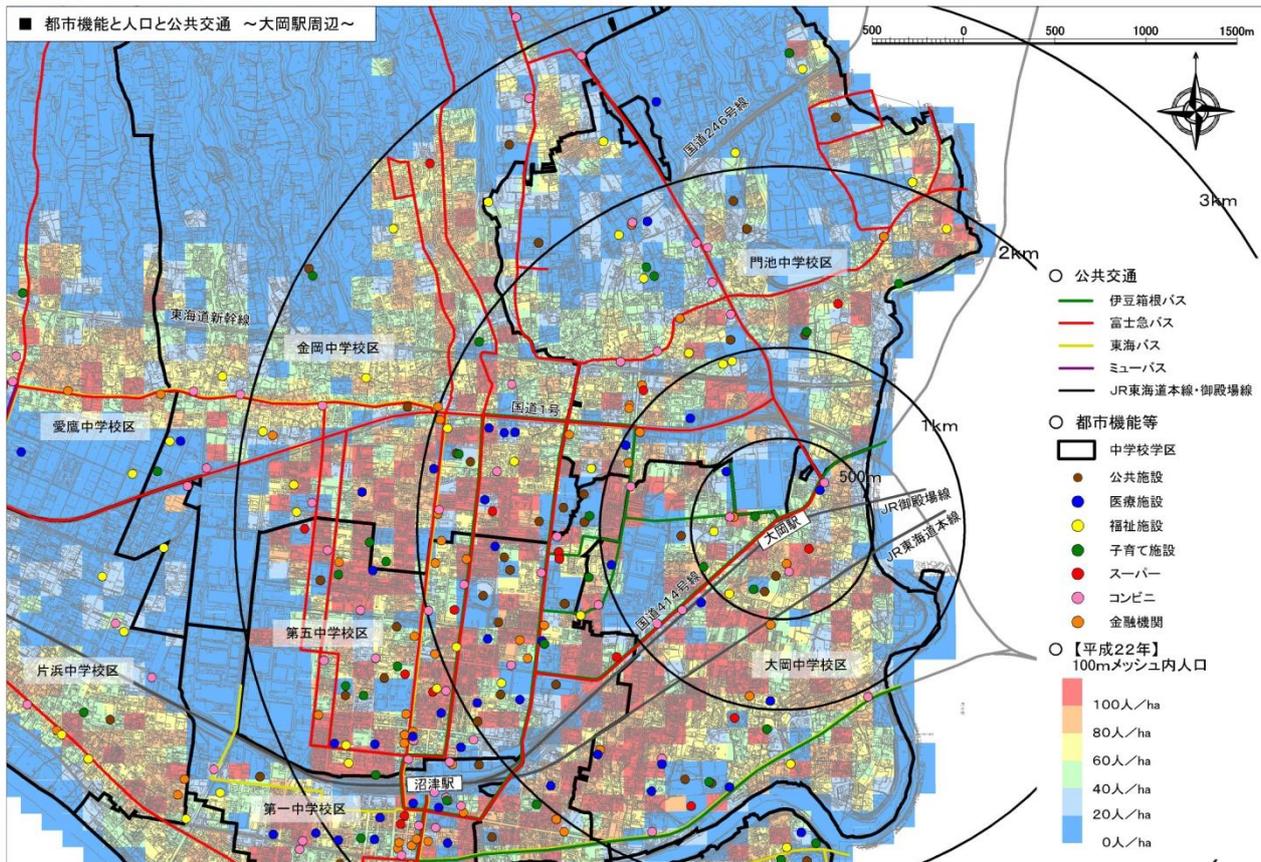
(大岡中学校区+門池中学校区)



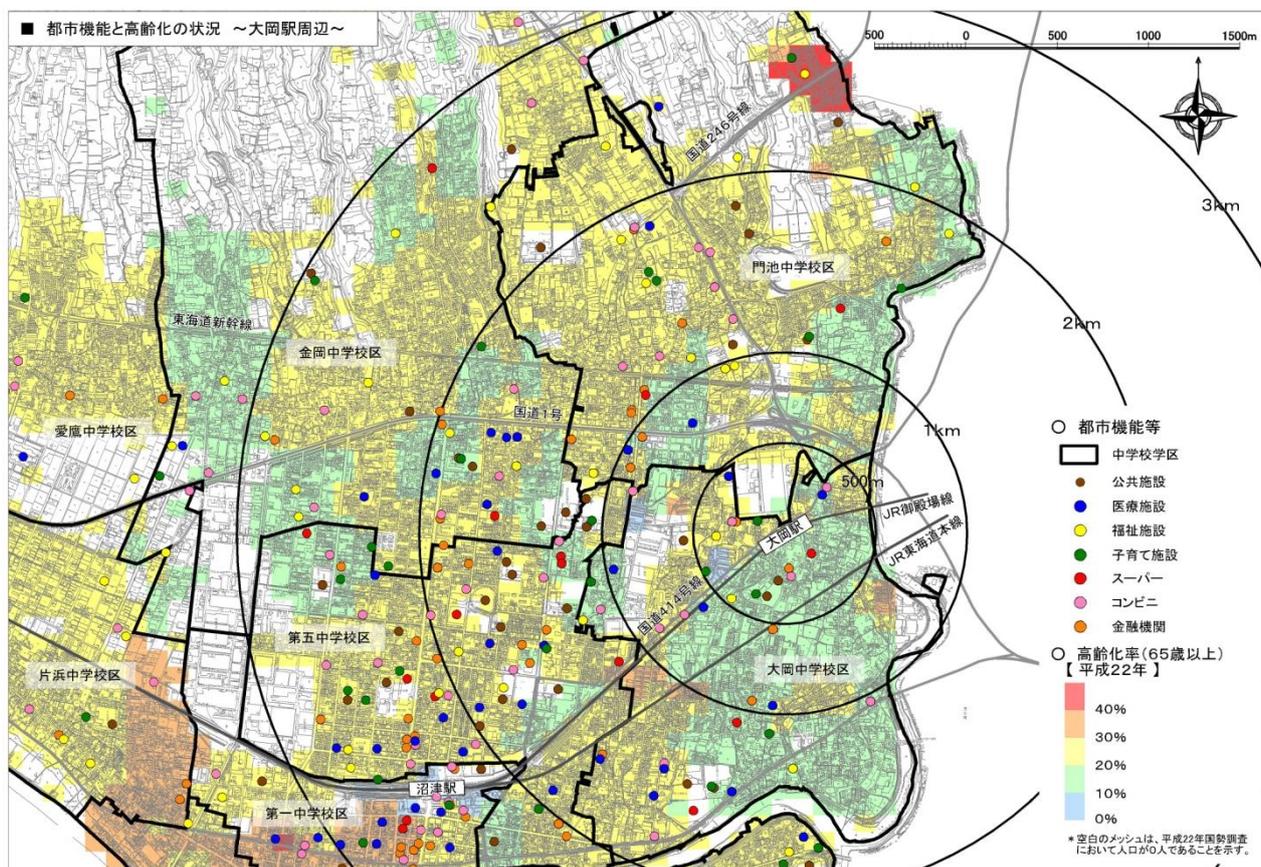
■ 土地利用現況 (平成 22 年)



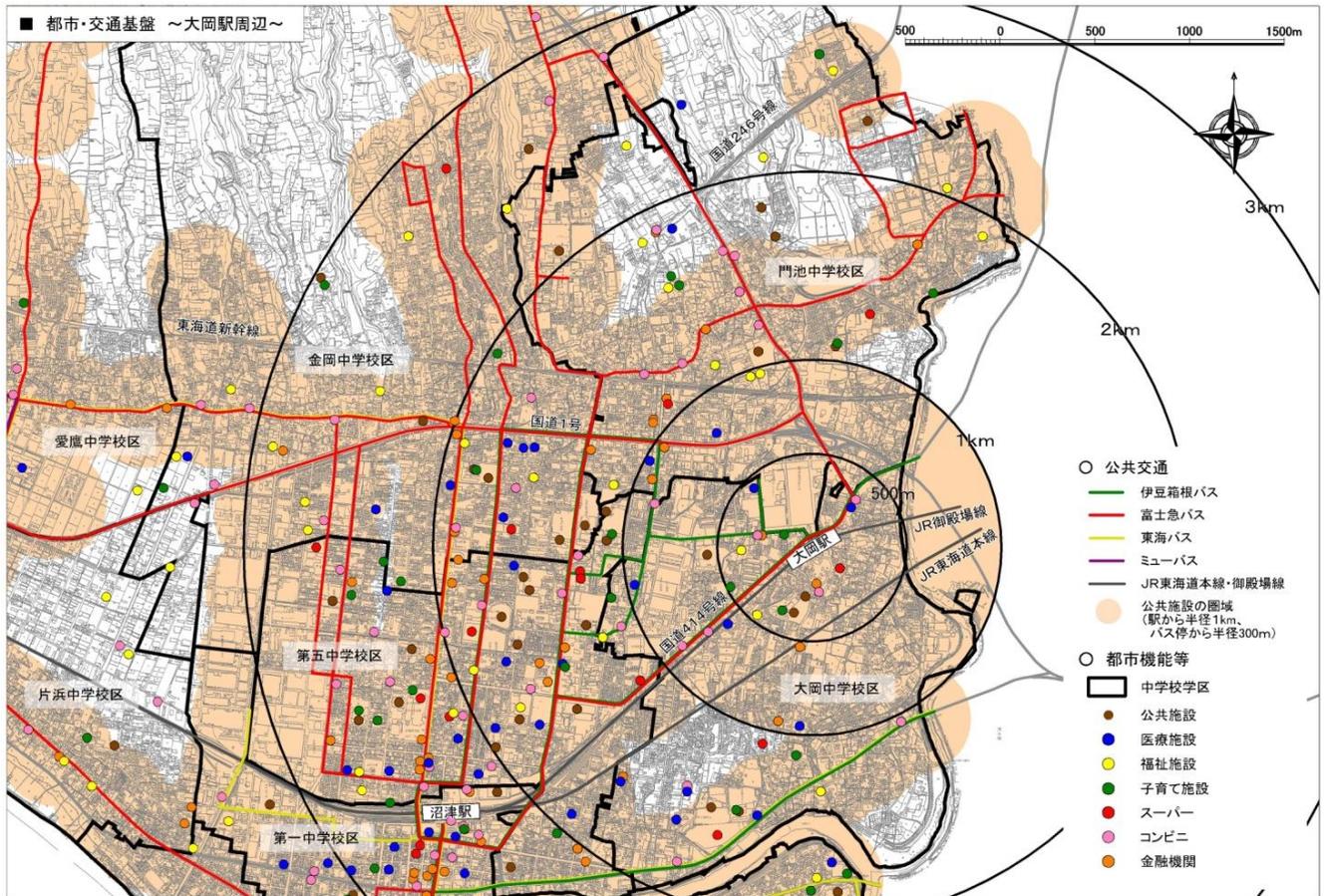
■ 人口分布 (平成 22 年) (100mメッシュ)



■ 高齢化の状況 (平成 22 年) (100mメッシュ)

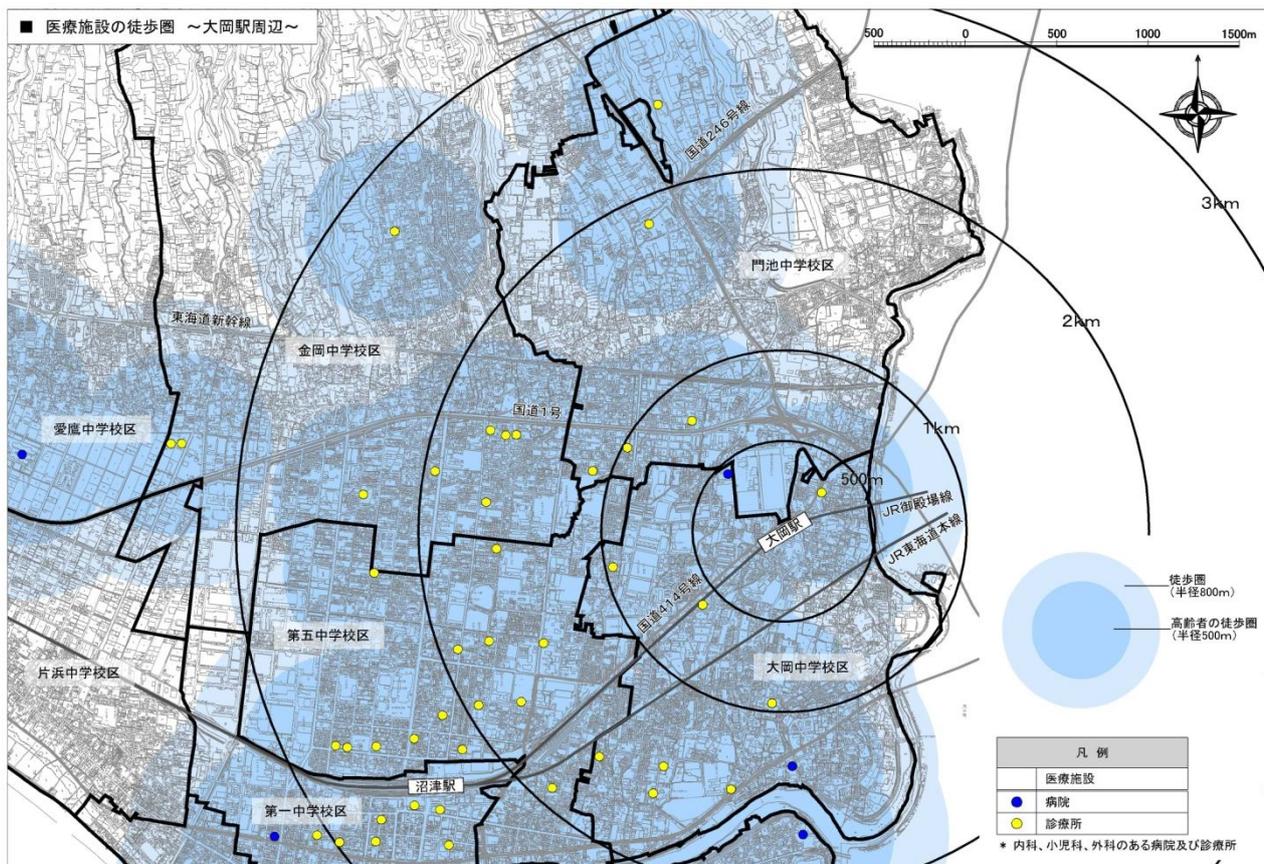


■都市・交通基盤（都市計画道路、公共交通、主要施設）

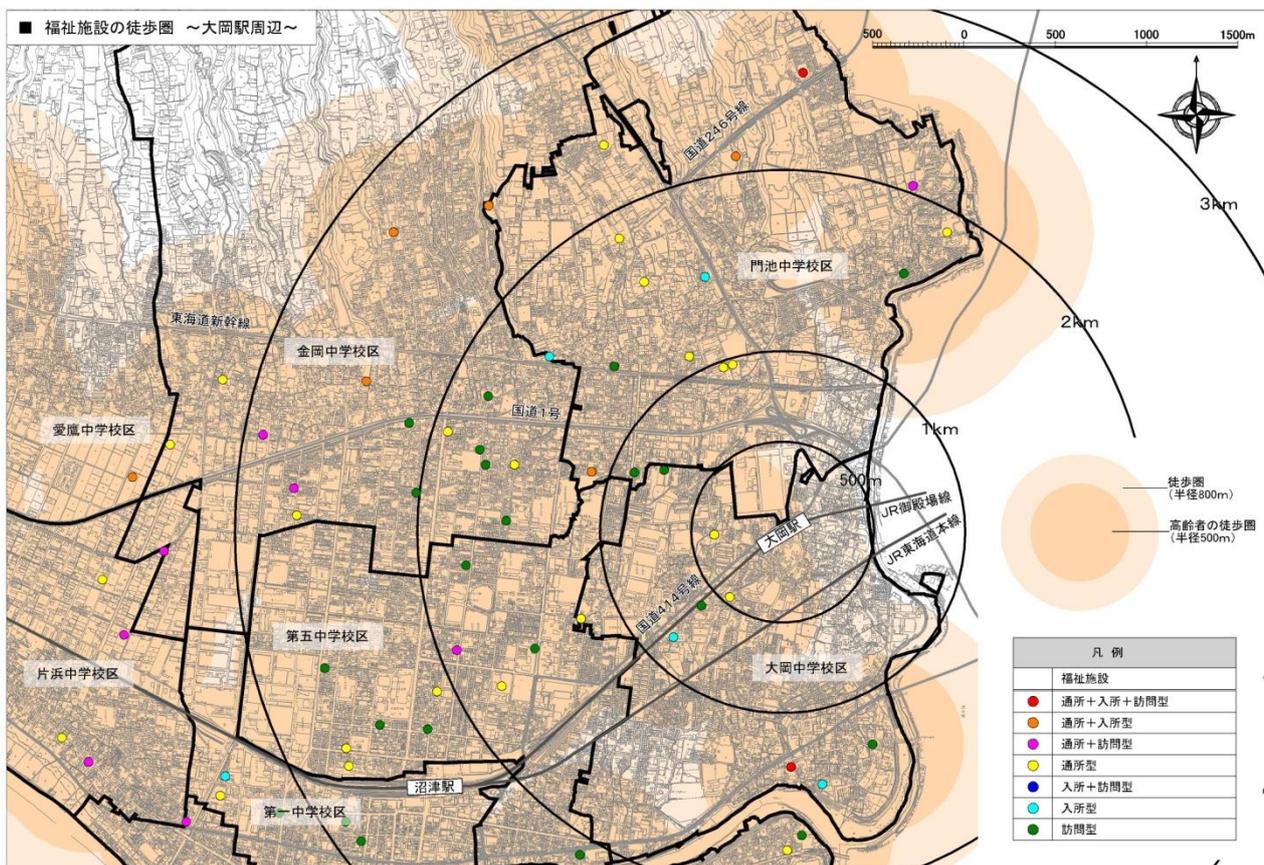


⑧ 大岡駅周辺—2

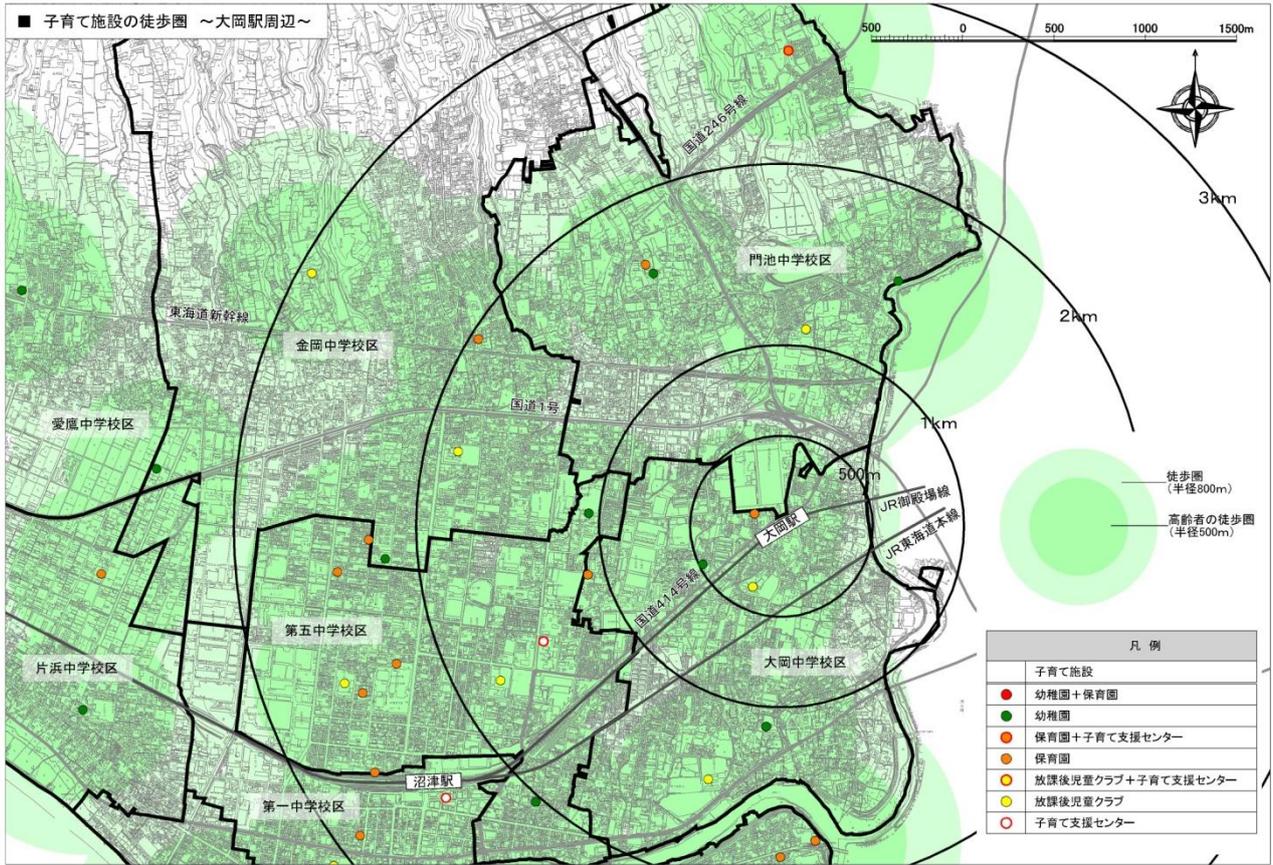
■ 医療施設の徒歩圏



■ 福祉施設の徒歩圏



■ 子育て施設の徒歩圏



■ 商業施設の徒歩圏

